

平成30年度第4回経営協議会議事要旨

日時 平成31年3月22日（金）10時00分～11時30分
場所 札幌駅前サテライト（教室1）
出席者 学外委員：今井、柿沼、蔵本、松岡、佐藤
学内委員：蛇穴、佐川、阿部、横山、石川
オブザーバー：高橋（教）、中尾、玉井、西原
欠席者 学外委員：小野寺、見上

◎ 平成30年度第3回議事要旨の確認

学長から、資料1に基づき説明があり、これを承認した。

◎ 議題

1 平成31年度年度計画について

石川理事から、資料2-1及び資料2-2に基づき、平成31年度年度計画（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり承認され、役員会に付議することとした。

【学外委員からの主な意見】

- 中期計画番号25番のグローバル教員養成プログラムについて、定員充足及び語学スコア到達割合の数値目標が掲げられている。今後、当該数値目標を達成できるよう具体的な対策を講じていく必要がある。
- グローバル教員養成プログラムの定員確保のため、ロールモデルとして、プログラム修了者の進路状況を学生に周知する等の取組を実施してはどうかと考える。
- 達成状況及び課題等を踏まえ、今後、グローバル教員養成プログラムをどう進めていくのかについて、報告する機会を設けてほしい。

2 2019年度収支予算書（案）について

財務部長から、資料3-1から資料3-4に基づき、2019年度収支予算書（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり承認され、役員会に付議することとした。

◎ 報告

1 平成29年度監査結果と監事意見への対応について

学長から、資料4に基づき、監事から学長に提出のあった「平成29年度監事監査報告書」の監査結果と監事意見への対応状況について、報告があった。

【学外委員からの主な意見】

- シラバスは、大学が提供する授業についての学生との契約書という側面があるため、個々のシラバスについて、授業内容、教育目標等が体系的に示されているのかを確認すべきと考える。

2 研究費の不正使用に関する調査結果について

横山理事から、机上配付資料に基づき、研究費の不正使用の事案に係る調査委員会の調査結果について、報告があった。

【学外委員からの主な意見】

- 再発防止のためには、研究費で購入する物品の目的・用途についても明確にしていく必要があるのではないかと考える。
- 調査結果を公表した後、同様の事案が発覚した場合、大学の信用失墜は計り知れないものがあるので、改めて調査の徹底をお願いしたい。
- 大学として公表する際、不正使用した研究費の用途（私的流用の有無等）についても、明らかにすべきであると考えている。

3 附属学校の校（園）長の役割等について

学外委員から、次回、附属学校と教育行政等との連携のための重要なポストである附属学校（園）長の役割について、大学の現状及び今後の方針等について説明してほしいとの要望が出された。

◎ その他

- 1 函館校教員による不適切な単位認定事案に係る訴訟の判決について
学長から、判決後の状況について報告があった。

以 上